

尊厳学の確立B03班主催 ワークショップ

# 認知症と尊厳と コミュニティ

本ワークショップでは、日本思想史・老年看護学・社会学の研究者をお迎えして、過去や現代の日本において認知症を有する人自身がどのような思いや価値観を持ち、まわりのケア提供者・家族・コミュニティが認知症を有する人の「尊厳」をどのように捉えて尊重しているのかを、さまざまな観点から考えてみたい。

日時：2026年3月20日(金・祝) 13:00～16:00

場所：岡山大学津島キャンパス

文法経1号館文学部会議室(オンライン同時開催)

13:00 開会・趣旨説明 日笠晴香（岡山大学学術研究院ヘルスシステム統合科学学域）

13:05～13:35 本村昌文（岡山大学学術研究院ヘルスシステム統合科学学域）

「古い・高齢者に関する意識の諸相：近世日本を中心として」

13:40～14:10 長谷川奈々子（愛知県立大学看護学部）

「ケアにおける尊厳：看護・介護実践に根差した概念マトリックス開発の挑戦と進化～高齢者施設の入居者・職員の視点より～」

14:15～14:45 相澤出（東北医科薬科大学教養教育センター）

「軽度認知症のケアをめぐる人々の尊厳と苦悩：東北地方の軽費老人ホーム（ケアハウス）の事例から」

14:45～15:00 休憩

15:00～16:00 全体討議（質疑応答）

16:00 閉会

参加費無料・要登録

お申し込み



問合せ先：日笠晴香

[hikasa-h@okayama-u.ac.jp](mailto:hikasa-h@okayama-u.ac.jp)

主催：学術変革領域研究(A)

尊厳学の確立：尊厳概念に基づく社会統合の学際的パラダイムの構築に向けて

「ケイパビリティ毀損と人間の尊厳—福祉経済政策の倫理と哲学—」

(23H04855: 研究代表 後藤玲子)